

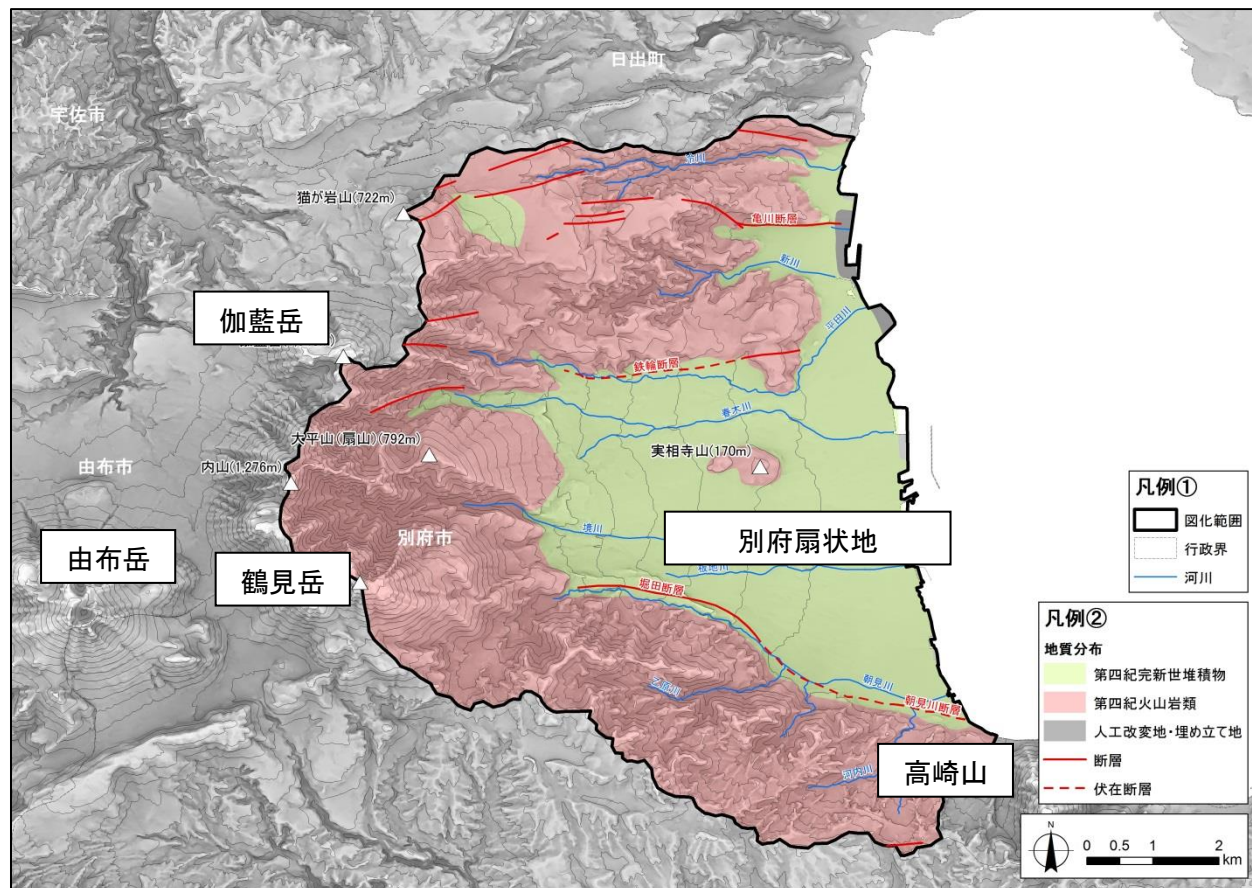
別府地区の地下水・温泉

別府地区 —活火山鶴見岳から広がる扇状地—

別府地区は、南北方向の海岸、西方に連なる活火山鶴見岳（1375m）を中心とした山々、それらをつなぐ扇状地（坂道）で特徴づけられます。扇状地の南側には別府湾から突き出たような高崎山へ続く平坦な山が連なり、扇状地との間は活断層によって限られています。扇状地の北側にも丘陵がひろがり、この境界付近も断層が推定されています。この扇状地の南北に四湯ずつ別府八湯の温泉が広く分布しています。

分布する岩石や地質は、地球の現代である第四紀（現在から約260万年間）に形成されました。ほとんどが火山活動による岩石です。古い方から並べてみます。

観海寺安山岩の活動（190万年前）、浜脇付近に分布する浜脇層の堆積、由布川火砕流の活動（60万年前）、輝石安山岩の噴出（40-50万年前）、高崎山や実相寺山の火山の活動（30万年前）があり、現在も鶴見岳・伽藍岳・由布岳の活火山の活動が継続しています。これらの火山活動は、火砕流や土石流を伴い、坂道の風景である扇状地を形成してきました。角閃石安山岩で、別府石ともよばれています。



「この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。（承認番号 平28情使、第6号）」

地下水の利用について

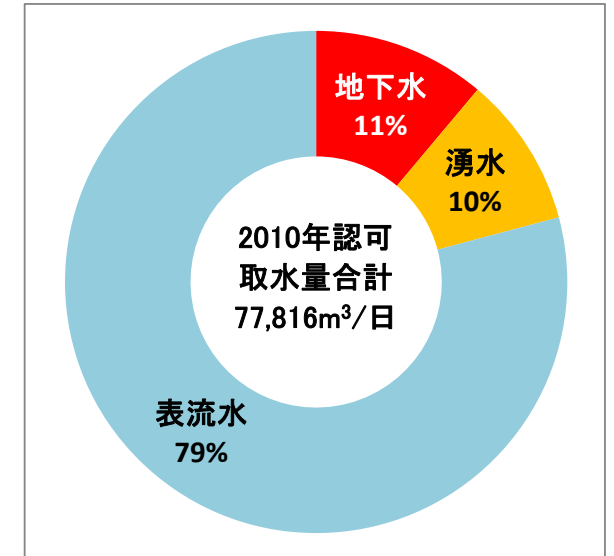
- ① 別府市の水道水源は約80%が表流水で、地下水・湧水への依存率は低い。
- ② また、別府市の工業用水はすべて水道から供給されている。
- ③ しかし、別府市内では古くから温泉として地下水が利用されており、別府八湯をはじめ、2,900以上の温泉が掘削されている。
- ④ したがって、別府地区では温泉を生活や観光に利用するという形で地下水が重要な資源となっている。

昨今の課題

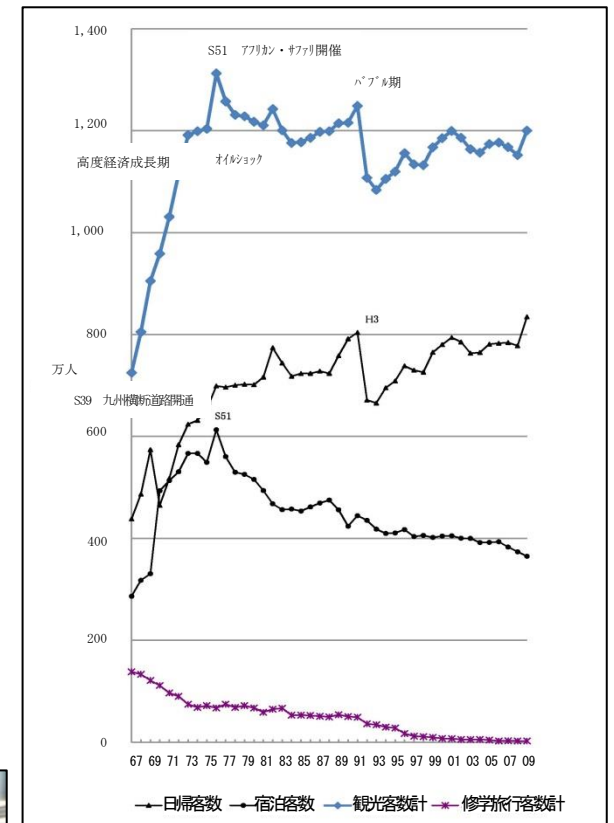
- ① 観光客（特に宿泊者数および修学旅行者数）の減少
- ② 温泉発電など再生可能エネルギーへの需要と温泉事業との両立

別府地区における取組み

- ① 関連条例等の施行・・・別府市温泉発電等の地域共生を図る条例（仮称）素案に対するパブリックコメントを募集
- ② 別府温泉の知識啓蒙・・・バーチャル博物館「別府温泉地球博物館」の創設
- ③ 海外との連携・・・ニュージーランド ロトルア市と姉妹都市の提携。鉄輪温泉の「地獄蒸」を「別府キッチン」という名前で紹介



別府市の水道水源の種類と割合
（「別府市地域水道ビジョン」2009年、別府市）



観光客数の推移（別府市HP）

